

平成29年度

学生によるオレンジリボン運動

東京成徳大学 実施報告書



実施主体 東京成徳大八千代キャンパス 手話サークル

実施内容 展示および手話歌の際にオレンジリボン運動の紹介

①事前に取り組んだ内容

- ・先輩たちの取り組みを振り返り、オレンジリボン運動の意義を知る。
- ・児童虐待の実態を理解し、啓発活動の重要性を知る。
- ・学園祭に来られた人に対して、オレンジリボン運動等を紹介する方法を考えた。Tシャツにオレンジリボンのマークを入れ、理解啓発に努めと運動に対する参加意欲を高めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・オレンジリボン運動の意義を訴える展示を作成した。来場者にもリボンを作成していただき、運動に対するメッセージを書いていただいた。
- ・展示の他に、手話歌の発表に合わせて、運動に参加する意義を来場者に知らせた。

③オレンジリボン運動を終えて…

新入生の多く参加する中で、これまで学園祭で児童虐待に関する啓発活動の意義を伝える機会を設けたことの意義を伝えた。

来場者の多くが運動に共感しメッセージを寄せた。手話サークルのメンバーにとって、手話の学習だけに限らず、社会のあり方に目を向ける契機となり、運動に対して共感的な理解が醸成された。

人と人のつながりを大切にする手話歌の発表とオレンジリボン運動に参加する姿勢が重なり合う活動ができた。右写真は、室内展示（上）と、オレンジリボンをデザインしたTシャツを着て手



話歌を発表する学生たち（下）